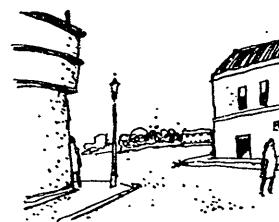


## ニュース断片

# ベルギーの1969年度医療保険予算

ベルギーでは毎年医療保険関係の予算が作成されているが、この予算をめぐって幾多の論議がたたかわされ、年度末まで続けられることがしばしばある。その問題点は、何よりもまず、医療保険の「構造的な財政不均衡」といわれるもので、進んだ医学技術をもち、誰もが容易に医療を受ける機会に恵まれている国々が一様に経験しているものである。以下に、1969年度のベルギーの医療保険予算とその問題点を雑誌「共済組合の動き (Orientation mutualiste)」に載った Sacréx 夫人の記事から拾って紹介する。



## 医療保険の収入と支出

医療保険の財源は、保険料と国庫補助によっている。全収入の50%以上(1966年度で67%)が労使双方の拠出によるもので、現行の保険料率は所得の5.75%となっている。

国庫補助は社会的疾病補助、医療給付補助、および失業補助の3通りがある。社会的疾病補助は、社会的といわれる疾病（ガン、結核、小児マヒ、精神病、先天的廻疾など）の治療にかかる費用の95%をカバーするもので、医療給付補助は、医療費にかんする予算額の27%

に相当する額となっている。これらの公的な支出は、ある種の被保険者に対する無料診療を行なうためのものであり、または保険者間の不平等（被保険者構成にもとづく不平等）を調整するためのものである。保険者間の財政調整は、年金受給者、寡婦、廻疾者などの数とこれらの者たちの全国平均費用をもとにして行なわれる。失業補助は、失業者の保険料の肩がわりをするものである。医療保険支出については、医療給付費に対する保険が負担する割合によって異なるが、ベルギーでは、協定できめられた診療報酬の75%，特定診療については全額を保険が負担する。さらに、社会立法にもとづく医療給付費、旧制度の累積赤字の償却額および事務費が加わる。

## 予算の作成

1969年度医療保険予算は次に示す通りである。

### a) 収入

収入見込みは、経済成長率を3.5%，失業者数12万5,000人、物価指数を1968年7月137.5、1969年4月140.25と仮定してたてら

(百万フラン)

收	入	支	出
保険料	17,896.2	医療給付	23,117.7
国庫負担	9,523.-	社会的疾病	1,612.8
失業	764.3	安全割増	693.5
社会的疾病 医療給付費の27%	1,683.3 7,075.4	事務費	2,388.-
国際協約	412.5	社会立法によるもの	
その他	188.-	旧制度の赤字解消	201.3
不足	672.7	国際協約	528.2
計	28,692.4	計	28,692.4

れた。

#### b) 支出

できるだけ厳密な推計をするために、各給付について被保険者の種別（筋肉労働者、一般被用者、鉱内夫、配偶者、子、年金受給者、廃疾者等）ごとに推計された。短期間のデータでは、季節的疾病、流行病などによる影響をうけるので、1956年からの長期間のデータが推計に用いられた。

医療給付費23,117.7百万フランの内訳は、

一般診療 6,438.6百万フラン

医療補助者にかかるもの

1,320.1 ヶ

専門的診療 3,677.5 ヶ

外 科	1,207.6	百万フラン
産婦人科	391.1	ヶ
入 院	4,463.1	ヶ
そ の 他	212.6	ヶ

となっている。

これらの費用の「安全割増」は最高5%まで見込むことが認められているが、この修正率をいくらにするかは、医療費を決定する数多くの変動要因に関係するためきわめてむずかしいが、1969年度については3%と評価された。

最後に過去の予算についてみると、1966年度決算から1969年度予算について収入の増は21.95%であるのに対し、支出は27.1%とな

っている。1964年の改革は、こうした医療保険財政の慢性的不均衡を緩和するために行なわれたのに、1969年度予算すでに9億フランにのぼる赤字が予測されている。

国庫負担も毎年増加し、1966年に較べて1969年度の保険料収入が指数で117.2であるのに対し、国庫負担額は132となっている。支出の増加のうちでも入院費の増は驚くべきもので、1966年から1969年度予算までに46.2%も増加している。

(Andree SACREZ, *Orientation mutualiste*  
Juin 1968)

(藤井良治 厚生省)

## 西ドイツの年金保険財政調整



西ドイツの年金保険のうち、労働者年金保険と職員年金保険のあいだの財政調整が焦眉

の急となっている。

政府、連邦銀行および年金保険保険者連合